

音楽部門

総評

音楽部門については、今回が初めての募集ということもあって、どんな内容のものに取り組んだらよいのか迷ってしまった子どもたちも多かったようです。

今回応募があった作品は、3点とも創作でしたが、一般的にいて、小・中学生にはかなり難しいジャンルだと思われます。さらに、メロディーだけの創

優良賞受賞作品

2年1組の歌

吉見 良子

愛知教育大学附属岡崎小学校 2年

指導者 竹内 彦蔵

●きっかけ

お母さんから「休み中に歌を作ったら」といわれましたが、ほんとうに私が作れるとは思っていませんでした。8月になってピアノの先生から「できるから作ってごらん。」といわれ、なんだか作れそうな気がしてきて、やってみようと思いました。

●作品ができあがるまで

まず詩を作ろうと思いました。どうしたら詩ができるか、ピアノの先生のところへそうだんにいきました。すると先生は、「2年1組は、どんなクラスか、男の子と女の子は仲よしか、先生はどんな先生か」などのしつ問を紙に書いてくれました。私は、それに思ったことを書いていきました。そして、その中からおもしろいことばや、好きなどをえらんでならべてみると、詩ができました。

曲作りもなかなかうまくいかず、先生から曲の形などをおしえてもらって、オルガンをひきながら考えて作りました。

入賞者一覧

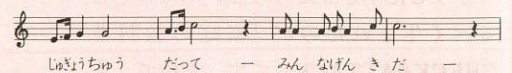
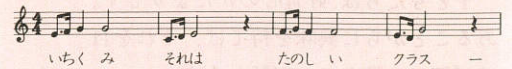
○佳作 岐阜県岐阜市市長良小学校 5年
宮崎 祥子

作となると非常に難しいので、創作に取り組む場合は、歌詞から入るふし作りがよいでしょう。

このほかの音楽部門の作品として、郷土の民謡の歴史について調べたり、身近にある材料で楽器を作ったりなど、いろいろ考えられます。

次回からは、音楽をもっと身近なものとしてとらえ、オリジナリティーあふれる作品が数多く応募されることを期待します。

一組の歌



選評

学校生活における自分のクラスに対する思いが、よく表わされている作品です。

メロディの仕方には、多少の問題はありますが、素直な子どもらしい歌詞から、明るく楽しいクラスの雰囲気が伝わってきます。

また、作品ができあがるまでの過程も、よくまとめられています。

岐阜県岐阜市市長良小学校 5年
佗美 智子